



互換性

この章では、Firepower バージョン 6.2.3.xパッチの互換性に関する情報を提供します。

サポートされているすべての Firepower バージョン（バンドル コンポーネントと統合製品を含む）の詳細な互換性情報については、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』を参照してください。

- [Firepower Management Center](#)について（1 ページ）
- [Firepower デバイス](#)（2 ページ）
- [マネージャとデバイスの互換性](#)（5 ページ）
- [Web ブラウザの互換性](#)（6 ページ）
- [画面解像度の要件](#)（7 ページ）

Firepower Management Centerについて

バージョン 6.2.3.x Firepower Management Center ソフトウェアは、物理および仮想プラットフォームでサポートされています。サポートされている FMCv インスタンスについては、『[Cisco Firepower Management Center Virtual Getting Started Guide](#)』を参照してください。FMC は、すべての Firepower デバイスを管理できます。

Firepower Management Center 物理プラットフォーム

- MC 1000、2500、4500
- MC 2000、4000
- MC 750、1500、3500

Firepower Management Center Virtual :

- VMware vSphere/VMware ESXi 5.5、6.0、または 6.5 上の FMCv
- カーネルベース仮想マシン（KVM）上の FMCv
- Amazon Web Services（AWS）上の FMCv

Firepower デバイス

バージョン 6.2.3.x Firepower デバイス ソフトウェアは、さまざまな物理および仮想プラットフォームでサポートされています。

- **ソフトウェアタイプ**：一部の Firepower デバイスは Firepower Threat Defense (FTD) ソフトウェアを実行します。また、一部の Firepower デバイスは NGIPS/ASA FirePOWER ソフトウェアを実行します。一部のデバイスはいずれかのソフトウェアを実行できますが、両方を同時に実行することはできません。
- **ローカルおよびリモート管理**：すべての Firepower デバイスは、複数のデバイスを管理できる Firepower Management Center を使用したリモート管理をサポートします。また、一部のプラットフォームでは、ローカルの単一デバイス管理をサポートしています。Firepower Device Manager (FDM)、または ASDM を使用した ASA FirePOWER を使って FTD を管理することができます。一度に 1 つのデバイスに関して使用できる管理方法は 1 つだけです。
- **オペレーティングシステム**：一部の Firepower 実装では、オペレーティングシステムとソフトウェアがバンドルされます。その他の実装では、自分でオペレーティングシステムをアップグレードする必要があります。バンドルされたオペレーティングシステムのバージョンとビルドについては、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』の「Bundled Components」の情報を参照してください。

次の表は、バージョン 6.2.3.x を実行している Firepower デバイスの互換性情報を示しています。ここでも、すべてのデバイスがリモート FMC 管理をサポートしていることに注意してください。

表 1:バージョン 6.2.3.x の Firepower デバイス

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
Firepower 2110、2120、2130、2140	FTD	FDM	—
Firepower 4110、4120、4140、4150 Firepower 9300 SM-24、SM-36、SM-44 モジュールを搭載	FTD	—	FXOS 2.3.1.73 以降のビルド。 個別のアップグレード。最初にFXOSをアップグレードします。 問題を解決するには、FXOSを最新のビルドにアップグレードする必要があります。判断のヒントについては、『 Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Release Notes, 2.3(1) 』を参照してください。
ISA 3000	FTD	FDM	—

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
ASA 5506-X、5506H-X、5506W-X ASA 5508-X、5516-X ASA 5512-X、5515-X、5525-X、5545-X、5555-X	FTD	FDM	—
	ASA FirePOWER (NGIPS)	ASDM	<p>次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASA 9.5(2)、9.5(3) • ASA 9.6(x) ~ 9.12(x) <p>例外：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASA 9.5(x) を実行する ASA 5506-X シリーズ デバイスは、ASA FirePOWER をサポートしていません。 • ASA 9.10(x)+ を実行する ASA 5512-X および ASA 5506-X シリーズ デバイスは、ASA FirePOWER をサポートしていません。 <p>個別のアップグレード。操作の順序については、『Cisco ASA Upgrade Guide』を参照してください。</p> <p>ASA と ASA FirePOWER のバージョンには幅広い互換性があります。ただし、厳密にはASAのアップグレードが必要でない場合でも、問題解決のために、サポートされた最新のバージョンへのアップグレードが必要になることがあります。</p>

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
ASA 5585-X-SSP-10、-20、-40、-60	ASA FirePOWER (NGIPS)	ASDM	<p>次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ASA 9.5(2)、9.5(3) • ASA 9.6(x) ~ 9.12(x) <p>個別のアップグレード。操作の順序については、『Cisco ASA Upgrade Guide』を参照してください。</p> <p>ASA と ASA FirePOWER のバージョンには幅広い互換性があります。ただし、厳密にはASAのアップグレードが必要でない場合でも、問題解決のために、サポートされた最新のバージョンへのアップグレードが必要になることがあります。</p>
FTDv	FTD	FDM (VMware および KVM のみ)	<p>次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VMware vSphere/VMware ESXi 5.5、6.0、または 6.5 • KVM • AWS • Microsoft Azure <p>サポートされているインスタンスについては、該当する FTDvクイックスタート または スタートアップガイド を参照してください。</p>
NGIPSv	NGIPS	—	<p>VMware vSphere/VMware ESXi 5.5、6.0、または 6.5</p> <p>サポートされているインスタンスについては、『Cisco Firepower NGIPSv (VMware 向け) クイックスタート』を参照してください。</p>

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
Firepower 7010、7020、7030、7050 Firepower 7110、7115、7120、7125 Firepower 8120、8130、8140 Firepower 8250、8260、8270、8290 Firepower 8350、8360、8370、8390 AMP 7150、8050、8150 AMP 8350、8360、8370、8390	NGIPS	選択した管理機能のためのローカル GUI が制限されています。	—

マネージャとデバイスの互換性

FMC では、管理対象のデバイスと同じメジャーバージョンを実行している必要があります。パッチ未適用の FMC を使用してパッチを適用したデバイスを管理することもできますが、新しい機能と解決済みの問題では、多くの場合 FMC とその管理対象デバイスの「両方」で最新のパッチが必要になります。環境全体をパッチすることを強くお勧めします。

表 2:バージョン 6.2.3.x のマネージャとデバイスの互換性

Firepower Management Center		
バージョン 6.2.3.x FMC	管理可能	バージョン 6.1 ~ 6.2.3.x のデバイス
バージョン 6.2.3.x のデバイス	<i>require</i>	バージョン 6.2.3 FMC
Firepower Device Manager		
バージョン 6.2.3.x FDM	管理可能	1 つの FTD デバイス
ASDM		
バージョン 7.9.2 の ASDM	管理可能	バージョン 6.2.3.x およびそれ以前の ASA FirePOWER モジュール
バージョン 6.2.3.x ASA FirePOWER モジュール	<i>require</i>	バージョン 7.9.2 の ASDM

Web ブラウザの互換性

Firepower によってモニタされるネットワークからの Web の参照

多くのブラウザでは、デフォルトで Transport Layer Security (TLS) v1.3 が使用されています。暗号化されたトラフィックを処理するために SSL ポリシーを使用していて、モニタ対象ネットワーク内のユーザが TLS v1.3 を有効にしてブラウザを使用している場合、TLS v1.3 をサポートする Web サイトのロードに失敗します。回避策として、ClientHello ネゴシエーションから拡張機能 43 (TLS 1.3) を削除するように管理対象デバイスを設定します。バージョン 6.2.3.7+ では、新しい CLI コマンドを使用して、ダウングレードするタイミングを指定できます。

「[Firepower バージョン 6.2.3.x の新機能](#)」を参照してください。

詳細については、『[Failures loading websites using TLS 1.3 with SSL inspection enabled](#)』というタイトルのソフトウェア アドバイザリを参照してください。

Firepower Web インターフェイスの使用

Firepower Web インターフェイスは、よく使われているさまざまなブラウザでテストされています。リストされていないブラウザで問題が発生した場合は、テスト済みのブラウザに切り替えてください。問題が解消されない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。



- (注) SSL 証明書を使用すると、FMC (および 7000/8000 シリーズデバイス) でアプライアンスとブラウザ間に暗号化チャネルを確立できます。デフォルトでは、システムに自己署名 HTTPS サーバ証明書が付属しています。この証明書を、グローバルに知られているか、内部で信頼されている認証局 (CA) によって署名された証明書に置き換えることをお勧めします。カスタムサーバ証明書要求を生成し、[HTTPS Certificates] ページでカスタムサーバ証明書をインポートすることができます。[System] > [Configuration] を選択し、[HTTPS Certificates] をクリックします。詳細については、オンライン ヘルプまたは『[Firepower Management Center コンフィギュレーション ガイド](#)』を参照してください。

表 3: Firepower Web インターフェイスでテストされたブラウザ

ブラウザ	必要な設定と追加の警告
Google Chrome	JavaScript、Cookie Chrome は、画像、CSS、JavaScript などの静的コンテンツを、システムによって提供される自己署名証明書とともにキャッシュしません。これにより、特に低帯域幅環境では、ページの読み込み時間が長くなります。自己署名証明書を置き替えない場合は、代わりに、自己署名証明書をブラウザまたは OS の信頼ストアに追加できません。

ブラウザ	必要な設定と追加の警告
Mozilla Firefox	JavaScript、Cookie、TLS v1.2 これらを更新すると、Firefoxは、システムが提供する自己署名証明書を信頼しなくなる場合があります。証明書を置き換えない場合、ログインページがロードされないときはFirefoxを更新します。Firefoxの検索バーに「 about: support 」と入力し、[Refresh Firefox]をクリックします。一部の設定が失われます。『 Refresh Firefox 』サポートページを参照してください。
Microsoft Internet Explorer 10 および 11 (Windows)	JavaScript、Cookie、TLS v1.2、128 ビット暗号化 [Check for newer versions of stored pages] 閲覧履歴オプションについては、[Automatically]を選択してください。 [Include local directory path when uploading files to server] カスタムセキュリティ設定を無効にします (Internet Explorer 11 のみ)。 Firepower Web インターフェイスの IP アドレス/URL の互換表示を有効にします。
Apple Safari 10 および 11 (MacOS)	テストされていません。
Microsoft Edge (Windows)	テストされていません。

画面解像度の要件

表 4: Firepower ユーザーインターフェイスの画面解像度の要件

インターフェイス	解像度
Firepower Management Center	1280 X 720
7000/8000 シリーズ デバイス (制限されたローカルインターフェイス)	1280 X 720
Firepower Device Manager	1024 X 768
ASA FirePOWER モジュールを管理している ASDM	1024 X 768
Firepower Chassis Manager 向け Firepower 4100/9300 シャーシ	1024 X 768

